

# JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.198)

## 1. PCB処理安全監視委員会について

9月14日(月)に、令和2年度第1回「豊田市PCB処理安全監視委員会」(主催:豊田市)が豊田PCB処理事業所で開催されました。

今回の監視委員会は新型コロナウイルスへの対応として、参加者を監視委員会委員、豊田市、愛知県、環境省及びJESCOのみとするとともに、手指のアルコール消毒、マスク着用をして開催されました。

JESCOからは、豊田PCB廃棄物処理施設の処理実績や進捗状況、周辺環境への影響の状況などを報告し、PCB廃棄物処理が順調に進んでいることをご確認いただきました。

豊田市からは、豊田PCB廃棄物処理施設への立入検査の状況及び令和元年度PCB環境モニタリング調査について、いずれも問題のない状況であったとの説明がありました。

JESCOの処理エリア(愛知、岐阜、静岡、三重)の県及び政令市を代表して、愛知県から東海地区PCB廃棄物処理計画について説明があり、このエリアのPCB廃棄物が残らずJESCOに登録されるようにするPCB廃棄物の掘り起こしの取組等の状況について説明がありました。



委員の方々からは、令和4年度末までの期限内に処理が完了するように、JESCOについては安全操業の継続を、行政については掘り起こし等の取組の一層の推進を求めるご意見がありました。

環境省からは、全国的なPCB廃棄物処理の進捗状況、都道府県の取組への支援及びテレビCMによる全国的な広報の実施等の環境省の取組の説明がありました。

## 2. 産業医による健康講話を聴く

豊田事業所では社員の健康管理の一環として、産業医による健康講話を定期的を実施しており、本年度第2回目を9月29日(火)に開催しました。

今回のテーマは「新型コロナの現況と今後の対策について」でした。

新型コロナ、かぜ、インフルエンザの症状の違いや、新型コロナの特徴、コロナの終息についてなどの講話がありました。

三密(密閉・密集・密接)の予防策や感染拡大防止対策など、新型コロナ対策については防止策の対応が必須です。

「人にうつさないための対策」としてマスクの着用は必須であり、「人にうつされないための対策」であるフェイスシールドではなく、重要なのはマスクの着用であることを説明いただきました。



## 3. 施設見学について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、豊田PCB処理事業所における施設見学の受入をしばらくの間、中止しておりましたが、現在は受付を再開しています。

見学にあたっては、以下の新型コロナウイルス感染拡大防止策にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- ・本人又は同居者が当日及び2週間以内に発熱や咳、くしゃみ、鼻水、咽頭痛、倦怠感等の風邪症状がある場合には、見学をお控えください。
- ・来場時に非接触型体温計による体温測定への協力をお願いします。
- ・新型コロナウイルス感染者が発生した場合の対策として、連絡先等をお聞きします。当日、見学者自らが記入、提出していただきます。
- ・来場時のアルコール手指消毒や、こまめな手洗いをお願いいたします。
- ・見学中はマスクを着用し、咳エチケットを心がけてください。
- ・見学中はできるだけ距離をあけて、可能な範囲で身体的距離の確保をお願いします。
- ・1回の見学の受入は10名までとさせていただきます。

豊田PCB廃棄物処理施設では、見学者の皆様をお待ちしております。ぜひとも、ご見学を検討いただきますようお願いいたします。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん

